



from 札幌丘珠空港
函館
観光スポット

函館へ

海、山、歴史、グルメ、あらゆる材料が揃う街

函館山

世界三大夜景でも有名な函館を代表する観光名所。頂上の展望台からは函館の街が一望でき、夜景の美しさは息をのむほどに美しい！両側を海で挟まれた函館のくびれた地形が特徴的です。夏はもちろん冬は街灯の光を雪が反射するので、さらに美しい夜景を楽しめます。また、市街地とは反対側の函館湾では夕焼けが反射して赤く染まり、幻想的な風景が見られます。

金森赤レンガ倉庫

ベイエリアに建ち並ぶレトロで風情のあるレンガの倉庫群。明治時代に渡邊熊二郎(初代)が営業用倉庫として開業し、数も増え、現在では様々な工芸品やファッション雑貨、カフェなどの商業施設としても利用され、ショッピングを楽しみながら歴史も感じることができる人気のお洒落スポットとなっています。また、小型船で函館港内を一周する『金森ペイクルーズ』もおすすめです。



立待峠

函館山の南東に突き出ている岬。海に突き出ている海拔約30mの新崖がそそ立っています。海岸線と新崖を眺めることのできる絶景スポットです。晴れた日には遠くまで見渡せて、空も海も澄み渡っていて気持ちよくフレッシュできます。12月~3月の冬期は車両通行止めのため、徒歩のみとなりますので、ご注意ください。

湯の川温泉

函館市内の有名な温泉地のひとつ。函館空港からは車で約分、市街地からも市電で行けるので、交通の利便性も良い場所です。温泉街は海岸線に沿って広がり、海を眺めながらゆったりと温泉に浸れます。泉質は塩化物泉で、薄冷しくごく殺菌効果があるとされ、無料で入れる足湯や温泉銭湯も何軒もあり、気軽さも魅力です。

函館朝市

映画やドラマのロケ地でも有名な朝市。活気溢れる賑やかな市場をのんびり散歩とお土産をショッピング！お腹が空いたら「朝市ひろば」や「朝二市場」で「どんぶり横丁」などで黄金色に輝くウニイクラ、カニなど新鮮な海産物を好みに合わせてたまりません。新鮮な海の味をお楽しみください。



from 札幌丘珠空港
青森三沢
観光スポット

青森へ

自然、科学、アート、グルメ、美しさと楽しさが混在する

奥入瀬渓流

十和田湖の子ノ口から流れ出る奥入瀬川が創り出した渓流。豊かな樹々に囲まれた焼山までの約14kmの渓流は、数多くの滝や岩などによって四季折々に多彩な姿で魅了します。渓流沿いには遊歩道が整備されており、焼山から子ノ口までゆっくりと散策が楽しめます。また、レンタサイクルで、渓流沿いの国道を爽快にサイクリングしながら、美しい渓流美を存分に楽しめます。

十和田湖

青森県と秋田県にまたがる海拔400mの高さにある周囲およそ46kmの二重カルデラ湖。周囲を囲む外輪山と共に四季折々に美しい姿を見せます。十和田湖には、美しい眺めを楽しめる歌舞台をはじめとした展望台や高村光太郎作の『乙女の像』、珍しい吉岡占ひの方法で有名な十和田神社、湖上からゆっくりと美しさを楽しむ『十和田湖遊覧船』などの観光スポットがあります。



睡蓮沼

酸ヶ湯から十和田湖へ向かう途中にある沼。7~8月に花を咲かせるスズレン科のエゾヒツジグサが自生していることから睡蓮沼と呼ばれています。エゾヒツジグサのほかにミズバショウやミツガシワ、レンゲツツジなどが美しく咲き、沼の向こうには八甲田連峰の高田大岳、小竹、八甲田大岳などが眺められ、その優雅で雄大な姿や色鮮やかな紅葉を睡蓮沼に美しく写しています。

十和田市現代美術館

十和田市が推進するアートによるまちづくりプロジェクト、Arts Towada(アーツ・トワダ)の拠点施設として開館した、官庁街通り(別名:駒街道)に位置する現代美術館。ここでしか見ることが出来ない38の現代アート作品があり、個性的な展示室だけでなく、アートの広場、通りのあちこちにはストリートファニーチャージャーが置かれているなど、見事に街が現代アートの美術館と化していて、人気のスポットです。



青森県立三沢航空科学館

航空の町として知られている三沢市の三沢飛行場に隣接する科学館。青森県が世界の航空史に果たした役割と青森県にゆかりのある航空機などの展示が行われています。科学館には、三沢市湊代海岸から飛び立ち世界初の太平洋横断飛行を行った『ミス・ビートル号』の復元機や、今でもファンが多い国産旅客機YS-11A500型機・JA8776などの興味深い実機が展示され、ファンには必見です。



from 札幌丘珠空港
利尻
観光スポット

利尻へ

大自然、絶景、海産物、北海道の最果ての島

利尻山

標高1,721m、島のシンボルともなっている日本百名山のひとつ。北の秀峰としては1番目で、その雄大な利尻山を中心に、北海道の最果ての島ならではの絶景や高山植物を堪能できる映画『北のカナリアたち』で撮影地となった「富士野園地」のんびり散歩のできる海岸や沼地などの自然を楽しむ観光スポットが存分にあり、最果ての広く雄大な大地と絶景と美味しい海産物を堪能できます。



パシ岬

鷺泊港の背中にある、標高90mほどの巨大な岩山岬。結構急な坂道ですが、頂上までは徒歩5分ほど、眺めは最高です。晴れた日には礼文島や稚内も望め、実は御来光の名所とも言われています。絶景スポットで、別名灯台山とも呼ばれています。また、近辺一帯は野鳥などが多くバードウォッチングも楽しめますので、ちょっとした寄り道スポットとしても人気です。

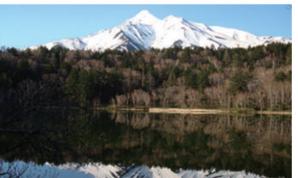


オタトマリ沼

利尻島の中では最大の沼。沼沼に劣らず利尻富士を美しく見せてくれるビュースポットです。さらに絶景と呼ばれる場所をより一層引き立てている名脇役は沼を囲むように覆うアカエゾマツの原生林。また、散策道もあるので、沼畔をのんびり散歩することができ、時期になると道端に咲くミスバショウやハクサンチドリ、ハスの花が水面に浮かぶ姿は綺麗で絶景です。

姫沼

森に囲まれ、静寂した雰囲気の魅力の周囲1kmほどの人造で作られた小さな沼。利尻山山頂の真北にあるこの姫沼は、原生林の先にそびえ立つ利尻山を一番美しい角度から見ることができ、晴天で風がない日は、水面に逆さ富士が見られることもあり、神秘的な姿を望めるスポットとしても人気があります。また、散策道もあり約20分で回ることができのんびりお散歩できます。



名水百選選定「甘露露水」

名水百選に選定された日本最北端の名水。水が甘いことからそう呼ばれ、またに島唯一の湧水ポイントです。場所は利尻山3合目付近にあたる標高290m地点で、利尻富士町「鷺泊登山ルート」の入口(北麓野営場)から登山道をわずら約500m・約10分進んだところであり、登山者は必ずと言ってよいほど頂上までの水の補給をここでします。

利尻昆布

島の名産でもある昆布の王者「昆布」。利尻昆布は肉が厚くて「だしをとるのに最高、お料理に幅広く活躍します。この昆布を天日干しする風景を海岸沿いのいたるところで見ることができ、観光スポットにもなっています。ぜひ、ドライブ中に立ち寄りて採ってみてください。昆布の量がビックリです。

生ウニ丼

北海道でも有数の質の高さを誇る利尻昆布を食べて育った「蝦夷ハクワンニ」とろりと口の中であじわられるような利尻のウニをたっぷり白いご飯にたっぷりのった「生ウニ丼」は、一度食べれば忘れられないおいしさです。こんな贅沢な生ウニ丼が食べたいと思う絶品です！



from 札幌丘珠空港
釧路
観光スポット

釧路へ

日本最大級の湿原、道東一の都市

釧路湿原国立公園

1市2町1村にまたがる日本最大の湿原。天然記念物の丹頂鶴や野鳥の生息飛来地にもなっています。日本の湿地帯のおよそ6割を占めるこの湿原は、1980年6月にその価値が国際的に認められ、日本で最初のラムサール条約登録湿地となり、昭和62年には国立公園として指定されました。湿原の中を散策できるよう木道が整備されているので、湿地特有の動植物を間近に感じることができます。

阿寒湖

雄阿寒岳の噴火によって生まれた釧路市「阿寒国立公園」に位置する周囲約30km、最大深度約45mの湖。特別天然記念物のマリモが生息し、湖上には大小の島々が浮かび、湖畔には大きな温泉街があり、観光スポットとしても人気があります。また、雄大な阿寒岳を眺めながら、湖上遊覧ができ、季節ごとに変わる自然の移り変わりを楽しめるので、何度行ってもその美しさに感動してしまいます。



マリモ展示観察センター

阿寒湖北部のチュウレイ島にある施設。遊覧船に乗船して訪れることができる場所です。展示施設には国の特別天然記念物で湖底にいる美しく不可思議な球形のマリモを展示する水槽が並んでいて、マリモがごろごろ転がっている大水槽。超巨大マリモの水槽、壊れたマリモの水槽、チュウレイ島の生息地ライブカメラなど、様々な顔のマリモを見ることができます。

釧路フィッシャーマンズワープMOO

釧路港のウォーターフロントに位置する地元の方や観光客で賑わう複合商業施設。北海道の三大漁港である釧路港でとれた新鮮な海産物を農産物など土産物もずらりとそその、屋内型の屋台村やレストラン街もあるので、道東グルメを堪能するには最高のスポットです。

釧路市湿原展望台

国立公園である釧路湿原が一望出来る展望台。釧路湿原は日本最大の湿原でタンチョウなどの鳥類の生息地、休息地となっています。展望台は建築設計家の「毛根敬雄」によって特徴的なデザインになっています。1Fはカフェ、2Fには展示スペース、そして天気の良い日には釧路湿原内を散策出来る遊歩道があるので、大自然を堪能できます。

和商市場

釧路駅にある北海道の三大市場のひとつ。魚介類や青果、雑貨などのお店がひしめき、旅行者で賑わっています。ここでは人気は、多数あるお店の店先の新鮮な魚介類の中から、好みのネタを選んでご飯の上に乗せてもらい、自分だけのオリジナル丼を作る「勝手手しり」で見て、選べる楽しさも加わって、食欲も美味しさも倍増します。



五稜郭公園

星形の堀に囲まれた五稜郭公園。箱館奉行所は平成22年に復元され、土塁や石垣を間近で見ることができ、歴史を感じられます。春には星形の堀に沿うように桜が咲くのでとても美しく、平成18年に新しくなった「五稜郭タワー」からは公園を埋め尽くす桜がさらに美しく見られ、楽しめます！また、冬には堀をイルミネーションで飾る人気のイベント『五稜星の夢』が開催されています。



八幡坂・基坂

函館は坂の多い町。その中でも特に有名なのが「八幡坂・基坂」。八幡坂はCMや映画などでも使用され、真っ直ぐと続く坂道の先には海！この絶景は人気の撮影スポットです。また、基坂の頂上にはモダンな旧函館区公会堂、坂の途中の左手にはカフェも併設されている旧イギリス領事館、右手にはペリー提督来航記念碑などがあるので、坂の景色を楽しみながら観光スポット巡りができます。